



名古屋中央雨水調整池工事現場の見学に参加して



西区の押切公園西側で、名古屋中央雨水調整池の工事現場を見学しました。中川運河上流地域における集中豪雨による著しい浸水被害を防ぐ目的で市が発注し、特別共同企業体が施工している工事です。

押切公園の地下から南へ菊井町・明道町を經由し、中川区山王一丁目までの5kmの区間についてトンネルをシールドマシンで掘り、最終的には中川運河へ放流する事業です。

動画と説明の後にヘルメット・軍手・マスクを着用し、工事用エレベーターで地下50m程降りました。既に掘られて床板鋼材が敷かれた内径5.75mのトンネル内を手すりに掴まりながら奥へ進みます。穴の内壁には鉄とコンクリートで製造されたセグメントと呼ばれる湾曲した板が、ボルトで連結され筒状に貼られています。多くの配管や電気設備が施設され、先端の現場で掘削された土砂がコンベアベルトで入口へ運ばれて行きます。入口へ戻ると土砂をクレーンでダンプトラックに積んで外部へ運んでいました。

参加した上下水道局の市民モニターとアメンボクラブ会員から活発な質問が出ました。

(by M.O)



↑ 見学会の様子

↓ 雨水調整池内部の様子

